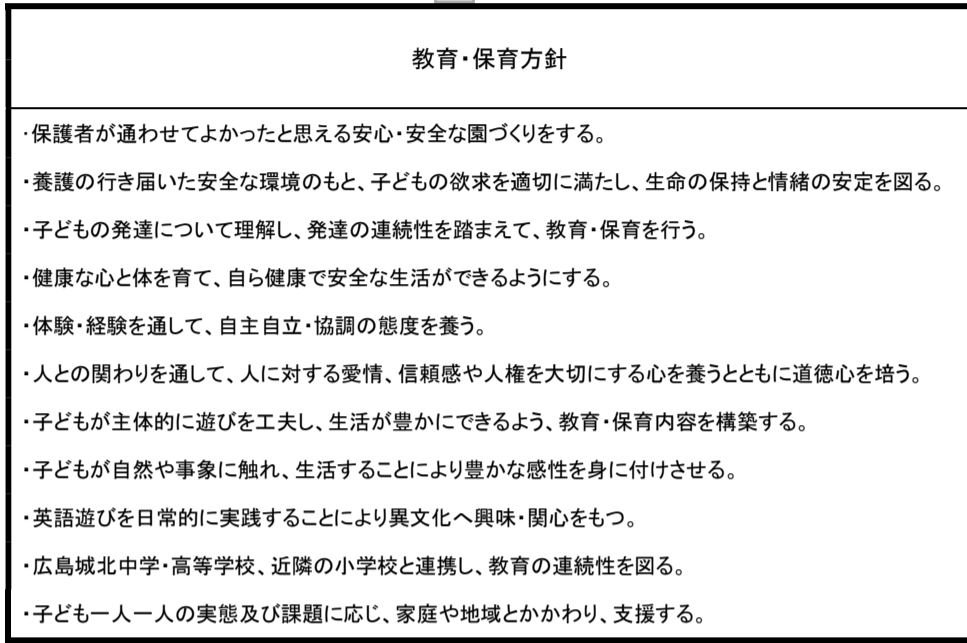
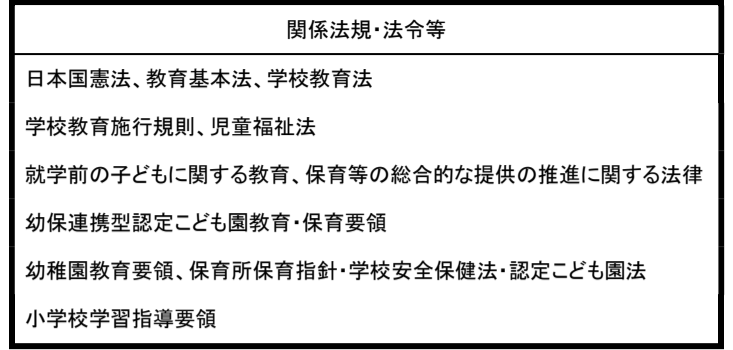
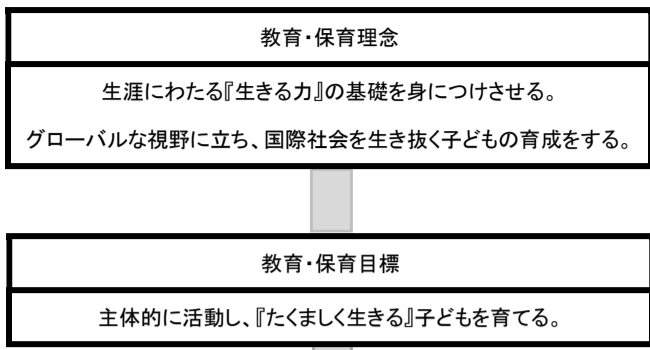


令和5年度 JOHOKUこどもアカデミー 全体的な計画



・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	・教育・保育において育みたい 資質・能力の3本柱
健康な心と体 自立心・協同性・思考力の芽生え コミュニケーション能力	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする (知識及び技能の基礎)
道徳性と規範意識の芽生え 社会生活との関わり 自然との関わり・生命尊重	気付いたことや、できるようになったこと等を使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。 (思考力、判断力、表現力等の基礎)
数量や図形・標識や文字などへの関心・ 感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい 生活を営もうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	満3歳	3歳児	4歳児	5歳児
教育・保育目標 (つけたい力)	生理的欲求を満たし、愛情豊かで応答的なかわりの下で情緒の安定を図る。	全身や手指の運動機能の発達を促し、甘え等の依存欲求を満たし情緒の安定を図る。	自分で意欲的にやろうとする気持ちを受け止め、自我の順調な育ちを支援する。	基本的な生活習慣を身につけ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを体験する。	基本的な生活習慣の自立や、身近な人・自然等の環境に関わり楽しさを覚える。	遊びの中で自分の思いを友だちや保育教諭と共有し、様々な表現で豊かな感性を養う。	集団生活の中で創造的・意欲的に活動し、思考力や認識力を身につける。
養護 (保育教諭が行う事項)	生命の保持	・生理的欲求の充実を図る	・生活リズムの形成を促す	・適度な運動と休息の充足	・基本的な生活習慣の形成	・運動と休息のバランスと調和を図る	・健康・安全への意識が向上する
	情緒の安定	・応答的な触れ合い ・情緒的な絆の形成	・温かなやりとりによる心の安定	・自我の育ちへの受容と共感	・主体性の育成	・自己肯定感の確立と他者を受容する力	・心身の調和と安定により自信をもつ
教育・保育のねらい及び内容 (子どもが環境にかかわり経験する事項) *満3歳以上は、教育課程に係る1日4時間 年39週をまわらないうようにする	健康	・身近な感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。 ・伸び伸びと体を動かす、はう、歩くなどの運動をしようとする。 ・食事、睡眠等の生活のリズムの感覚が育つ。	・子どもの健康状態や心身の発育・発達状態を把握する。 ・歩行の確立により、探索活動がさかんになる。	・安心できる保育教諭との関係のもと、食事や排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。 ・午睡などで適切に休息の機会をつくる。	・保育教諭等の助けを借りながら、衣服を自分で着脱し、手洗いや鼻をかむなどして清潔を保つ。 ・戸外で十分に体を動かして運動遊びをする。	・すすんで戸外で体を十分に動かして遊んだり、休息をとったりする。 ・自分で鼻をかみ、顔を手を洗うなど体を清潔にする。 ・危険な物や場所がわかり気を付ける。	・体と食べ物に関心をもつ。 ・体の異常について、自分から保育教諭に伝える。 ・積極的に外に出て、様々な運動器具に取り組み、工夫して遊ぶ。
	人間関係	・安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ・体の動きや表情、発生等により、保育教諭等と気持ちを通わせようとする。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。	・安心できる保育教諭の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心をもち関わろうとする。	・気持ちがうけとめてもらうことで、自我が順調に育つ。 ・身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。	・保育教諭に親しみをもち、安心して生活する中で友だちとごっこ遊びをしたり、遊具を貸したり、借りたりできる。 ・保育教諭の手伝いを喜んでする。	・友だちと生活する中で、きまりの大切さに気付く、守ろうとする。 ・身の回りにいる人に、いたわりや思いやりの気持ちをもてるようになる。 ・外国の人など、異なる文化をもった人の存在に気付く。	・自分の意見を主張するが、相手の意見も受け入れられる。 ・異年齢の子どもとの関わりを深め、思いやりやいたわりの気持ちをもつ。 ・共同の遊具や用具を譲り合って使う。
	環境	・安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。 ・体の動きや表情、発生等により、保育教諭等と気持ちを通わせようとする。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。	・身の回りの様々なものを自由にいじって遊び、外界に対する好奇心や関心をもつ。	・身の回りの親しみのもてる小動物や植物を見たり、触れたりして興味や関心を広げる。 ・保育教諭と一緒に水、砂、土、紙などの素材に触れて遊ぶ。	・身近な動植物をはじめ自然現象をよく見たり、触れたりして驚きや親しみをもつ。 ・身近な事柄に関心をもち、触れたり、集めたり、並べたりして遊ぶ。	・身近な動植物の世話をし、愛情をもつ。 ・自分のもの、人のものを知り、みんなで使うものの区別に気付く、大切にしようとする。 ・身の回りのものに触れる中で数や量に関心をもち、数えたり、比べたりする。	・自然現象がもつ、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。 ・身近にいる大人が「仕事をしている姿を見て、進んで手伝いをしようとする。 ・物を大切に扱い、整理整頓する。
	言葉	・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。 ・見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。 ・身体感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。	・保育教諭の話しかけを喜び、発語が促され、片言で言葉を使うようになる。	・生活に必要な簡単な言葉を聞き分け、様々な出来事に関心を示し言葉で表す。 ・簡単な模倣遊びをする中で言葉のやりとりができるようになる。	・保育教諭に自分のしてほしいこと、困ったことを伝え、「なぜ、どうして」などの質問をする。 ・ごっこ遊びの中で、日常生活での言葉を楽しんで使う。	・保育教諭の話に親しみをもち、聞いて、話したりして様々な言葉に興味をもつ。 ・絵本や童話などに親しみ、想像する楽しさを味わう。	・親しみをもち日常の挨拶をし、話しかけや問いかけに適切に回答する。 ・生活に必要な簡単な文字や記号などに関心をもつ。
表現	・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。 ・見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。 ・身体感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。	・好きな絵本の内容を動作や言葉で表したり、歌ったりして模倣活動を楽しむ。	・歌ったり、音楽に合わせて身体を動かしたりすることで楽しく表現する。	・音楽に親しみ、聞いたり、歌ったり、体を動かしたり、簡単なリズム楽器をならしたりする。 ・動物や乗り物などの動きを模倣する。	・感じたこと、思ったことや想像したことなどを様々な素材や用具を使って自由に描いたり、作ったりする。	・音楽に親しみ、みんなと一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を弾いたりして、音色の美しさやリズムの楽しさを味わう。	

心の教育	食育の推進	中学・高等学校・小学校への接続連携	健康・衛生・安全管理	職員研修
○行事や様々な体験活動を通して、素直で豊かな心を育てる。 【体験活動】 園外保育・遠足・お茶会・夏祭り栽培活動等【行事】 入園式・始業式・終業式・卒園式・修了式 誕生会・運動会・発表会・クリスマス・豆まき・ひな祭り等	○食育計画に基づき、乳幼児期にふさわしい食生活の展開をし、食に対する興味関心を高める。 ・自園調理で栄養バランスを考えた献立の提供 ・給食試食会(保護者)やレシピの公開 ・行事食の提供や、食材の下ごしらえなどのクッキング保育の実施	○小学校教育への円滑な接続に向けて交流会や連絡会を計画的に行い、教育の連続性を図る。 ・アプローチャカリキュラム・スタートカリキュラムの推進 ・園児と児童の交流会、職員同士の意見交換や連絡会 ・学校へ行く週間等の授業参観 ・職場体験、保育体験の受け入れ	・年間保健指導計画の作成・健康診断(内科検診、歯科検診) ・健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ・虐待対応 ・施設内外の設備、用具等の清掃消毒 ・施設内外の設備、用具等の安全管理及び自主点検 ・非常時対応訓練の実施 (火災、地震、土砂災害、SIDS、不審者、アレルギー一対応等)	・法令規則に則った研修会 ・園内研修会 ・講師招へいによる研修会 ・特別支援教育研修会 ・自己申告(教職員) ・自己評価・学校評価

